

予感研究所2

アート+テクノロジー+エンタテインメント=?!



研究者たち
の自由研究?

会期: **2008年7月26日|土| - 30日|水|** 会場: **日本科学未来館【東京・お台場】**

開館時間: 10:00 - 17:00 (入館は閉館30分前まで)

入場無料

主催: 独立行政法人科学技術振興機構、「デジタルメディア作品の制作を支援する基盤技術」研究領域 共催: 日本科学未来館

協賛: 画像電子学会 電子情報通信学会 日本デジタルゲーム学会 日本機械学会 ヒューマンインタフェース学会 日本バーチャルリアリティ学会

映像情報メディア学会 日本顔学会 情報処理学会(予定)

お問い合わせ: 03-3570-9253 「予感研2」運営事務局(日本科学未来館内)

詳細: <http://www.media.jst.go.jp/>

予感研究所2

アート+テクノロジー+エンタテインメント=?!



研究者たち
の自由研究?

会期: **2008年7月26日|土| - 30日|水|** 会場: **日本科学未来館【東京・お台場】**

開館時間: 10:00 - 17:00 (入館は閉館30分前まで)

入場無料

主催: 独立行政法人科学技術振興機構、「デジタルメディア作品の制作を支援する基盤技術」研究領域 共催: 日本科学未来館

協賛: 画像電子学会 電子情報通信学会 日本デジタルゲーム学会 日本機械学会 ヒューマンインタフェース学会 日本バーチャリアリティ学会

映像情報メディア学会 日本顔学会 情報処理学会(予定)

お問い合わせ: 03-3570-9253 「予感研2」運営事務局(日本科学未来館内)

詳細: <http://www.media.jst.go.jp/>



独立行政法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency

予感研究所2

アート+テクノロジー+エンタテインメント=？！

会期：2008年7月26日|土| - 30日|水|

会場：日本科学未来館【東京・お台場】



フェザードフレンド



超高解像度人間大昆虫写真 [life-size]



hanahana

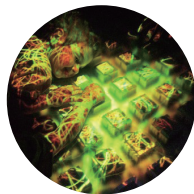


InterFlower

楽しい川遊び。服が水びたしにならないように気をつけなきゃ。あれあれ？ この川の水、濡れないよ？



ログログ



Thermoesthesia



球体ディスプレイ
[パノラマボールビジョン]

うーん、いい香り！
夏はいろんなお花が咲いていて
きれいだね。あれあれ？
このお花、動いているよ？

きみのアタマに浮かんだ 楽しいモクモク。ぴかー！っときたら なんだって、できちゃうかも？！

「こんなことができたらいいなあ」、「こんなものがあったら楽しいなあ…」、
そんな誰もが考える空想を「もしかしたらできちゃうかも?!」とマジメに取り組む
研究者たちの秘密基地、そこが予感研究所 (予感研：よかんけん) です。
この夏、予感研が、2年ぶりにみんなの前に登場します。
夏本番より一足はやく、研究者たちの自由研究を楽しんじゃおう！
きみのアタマの中にも楽しいアイデアがモクモクしてきて… ぴかー！っときたら、
きみも研究者の仲間になれるかも？

丸いテレビがあるよ。
映っているのはどこだろう？

併催イベント

シンポジウム

「ヒューマノイドはヒューマンになれるか？」

藤幡正樹 (東京芸術大学 教授) 他 開催日：2008年7月26日 (土)

CREST/MR-PreViz シンポジウム

「デジタル技術が映画を変える、プレビズ技術が創造性を高める」

田村秀行 (立命館大学 教授) 他 開催日：2008年7月30日 (水)

「図」と「地」で描くワークショップ

「未来館でみつける未来」

須永剛司 (多摩美術大学 教授) 他 開催日：2008年7月26日 (土)、27日 (日)

あ、きれいな電球があるね。
手で動かしてみたら…
すごい！光のパレードだ！

Optical Tone

詳細は HP (<http://www.media.jst.go.jp/>) をご覧ください。

研究者たちの自由研究？

この度開催する展覧会「予感研究所2」の作品は、「デジタルメディア作品の制作を支援する基盤技術」プロジェクト (研究総括：原島博 東大教授) のなかで育まれたものです。このプロジェクトは、独立行政法人科学技術振興機構 (JST) によって進められているもので、産業・学術系の研究機関で構成される戦略的創造研究推進事業および個人で同じテーマを研究する方々が参加しています。

近年、情報科学技術が急速に進歩する中、「メディア芸術」という新しい文化が生まれ注目されてきています。このメディア芸術において、作品制作を支える新しい手法や

表現するための基盤技術を創出するのが、このプロジェクトの狙いです。

具体的には、デジタル技術を使った映画、アニメーション、音楽、ゲームといった作品さらにそうした作品制作の基盤となるアイデアを生み出すための様々な技術手法や芸術を理解する人の仕組みなどを研究し、誰もがメディア芸術作品の制作を自由かつ効率的に行えるようにすることを目指しています。

科学者とアーティストたちが、分野を超えて研究・意見交換をしてきた成果を「予感研究所2」として発表いたします。

参加研究者

[チーム型研究 CREST] (研究者代表) 稲垣正彦 (慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授)、廣瀬通孝 (東京大学大学院情報理工学系研究科 教授)、藤幡正樹 (東京芸術大学大学院映像研究科 教授)、森島繁生 (早稲田大学理工学術院 教授)、岩田洋夫 (筑波大学大学院システム情報工学研究科 教授)、片寄晴弘 (関西学院大学理工学部 教授)、田村秀行 (立命館大学情報理工学部 教授)、松原仁 (公立はこだて未来大学システム情報科学部 教授)、河口洋一郎 (東京大学大学院情報学環 教授)、斎藤英雄 (慶應義塾大学理工学部 教授)、須永剛司 (多摩美術大学美術学部 教授)、渡辺富夫 (岡山県立大学情報工学部 教授)

[個人型研究 さきがけ] 佐藤いまり、串山久美子、後安美紀、橋本典久、武藤努、渡邊淳司、寛康明、木村朝子、野口靖、三谷純、山口真美



日本科学未来館 〒135-0064 東京都江東区青海2丁目41番地

Tel 03-3570-9151 Fax 03-3570-9150

<http://www.miraikan.jst.go.jp>

National Museum of Emerging Science and Innovation (Miraikan)

2-41 Aomi, Koto-ku, Tokyo 135-0064, Japan

Tel +81-3-3570-9151 Fax +81-3-3570-9150

- 新交通ゆりかもめ (新橋駅～豊洲駅)
「船の科学館駅」下車、徒歩約5分
「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分
- 東京臨海高速鉄道りんかい線 (新木場駅～大崎駅)
「東京テレポート駅」下車、徒歩約15分

- Tokyo Waterfront New Transit Yurikamome (Shimbashi - Toyosu)
5 minutes walk from "Funeno-Kagakukan station"
4 minutes walk from "Telecom Center station"
- Tokyo Waterfront area Rapid Transit Rinkai Line (Shin-kiba - Ohsaki)
15 minutes walk from "Tokyo Teletop station"

